

## 平成18年度環境技術実証モデル事業（小規模事業場向け有機性排水処理技術分野） 実施計画

大阪府環境情報センター

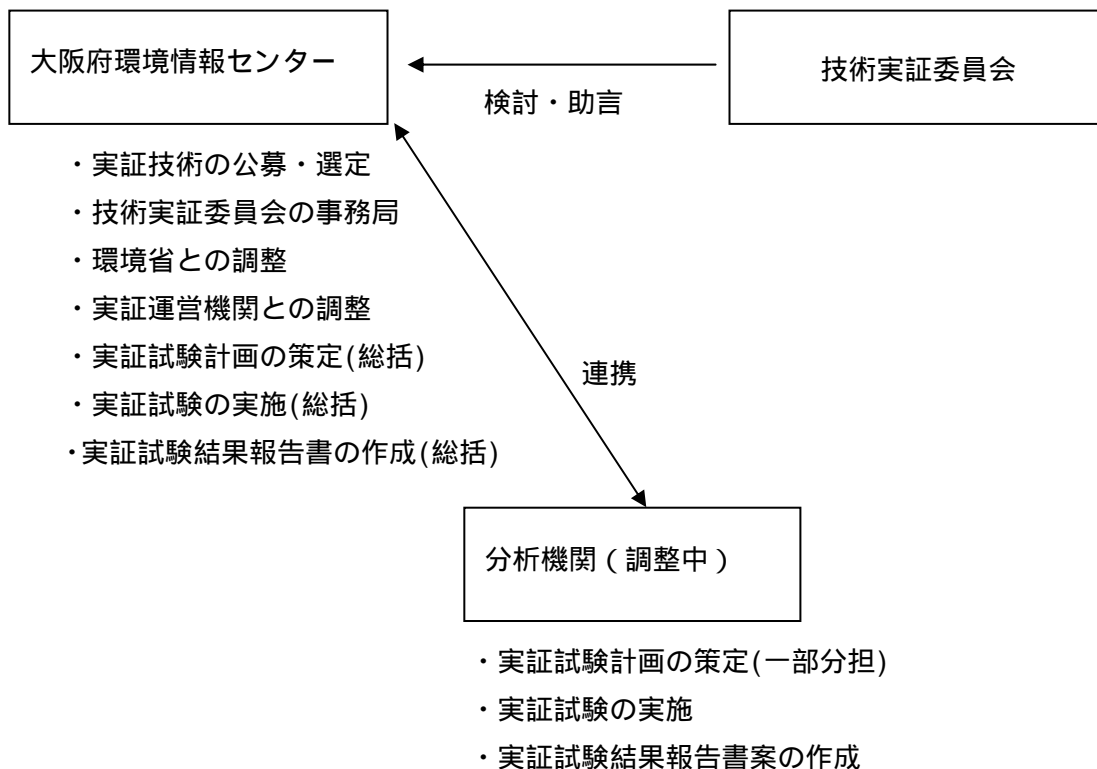
### 1. 目的

環境技術実証モデル事業（以下、「モデル事業」という。）は、既に適用段階にありながら、環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者が客観的に実証する事業をモデル的に実施することにより、環境技術実証の手法・体制の確立を図るとともに、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展を促進することを目的とする事業である。

本業務は、モデル事業 小規模事業場向け有機性排水処理技術分野における平成18年度の実証機関として選定された大阪府において、平成18年度 環境技術実証モデル事業 実施要領[第4版]（以下、「実施要領」という。） 小規模事業場向け有機性排水処理技術（厨房・食堂、食品工場関係）実証試験要領[第3版]（以下、「実証試験要領」という）等に基づいて、実証試験を行うものである。

### 2. 実施試験体制

#### 実証試験体制図





#### 4. 技術実証委員会の設置・運営体制

実施要領、実証試験要領等に基づき、有識者（学識経験者、ユーザー代表等）により構成される技術実証委員会を設置し、委員会の運営を行う。委員の構成は以下のとおりとする。また、委員会の開催回数は年4回程度とする。

|                |   |
|----------------|---|
| 技術実証委員会を運営する部署 | 大阪府環境情報センター 企画総務室 環境技術支援課   |
| 委員の構成案         | 学識経験者（予定）<br>国立高知工業高等専門学校 校長 藤田 正憲 氏<br>ユーザー代表 1名<br>サトレストランシステムズ(株)<br>業務部 統括マネージャー 箕裏 勝彦 氏<br>府立試験研究機関 2名<br>大阪府立公衆衛生研究所<br>生活環境部環境水質課 主任研究員 中野 仁 氏<br>大阪府立産業技術総合研究所<br>業務推進部 技術普及課 課長 森村 潔 氏 |
| 開催予定           | 9月上旬 対象技術の選定 (第1回委員会)<br>10月上旬 実証試験計画の検討 (第2回委員会)<br>11月中旬 実証試験結果まとめ方の検討 (第3回委員会)<br>(実証試験実施場所の視察)<br>2月中旬 実証試験結果報告書の検討 (第4回委員会)  |

#### 5. 実証対象技術の公募・選定

実施要領、実証試験要領等に基づき、実証対象技術の公募・選定を行う。実証対象技術の選定に当たっては、技術実証委員会における検討等を踏まえることとし、選定結果については、環境省の承認を得ることとする。選定数としては、2技術選定することを予定する。

#### 6. 実証試験計画の策定

実施要領、実証試験要領等に基づき、各実証対象技術ごとに、実証試験計画を策定する。実証試験計画の策定に当たっては、技術実証委員会で検討した上で作成することとし、策定後すみやかに環境省に提出する。

#### 7. 実証試験の実施

実施要領、実証試験要領、実証試験計画等に基づき、各実証対象技術ごとに、実証試験を行う。実証試験は分析機関（調整中）が行い、当センターは実証試験を総括する。その際、分析機関において実証試験が適切に行われるよう、指導・監督を行うこととする。

#### 8. 実証試験結果報告書の作成

実施要領、実証試験要領等に基づき、実証試験結果報告書を作成する。必要に応じて、実証試験結果報告書原案の作成を外部機関に委託する。実証試験結果報告書の作成に当たっては、技術実証委員会での検討を経ることとし、環境省の承認を得る。